

東 腎 協

第1回親睦会開催される

10月5日(日)千駄谷区民館にて

東 腎 協

☆親 睦 会 報 告

☆夏 夏 の 思 い 出 特 集

第10号
75.10.20

東京都腎臓病患者
連絡協議会

事務局
東京都

電話
〇三

第一回親睦会が台風十三号の影響を受けて強い雨降る中、千駄ヶ谷区民会館の和室にて行なわれました。悪天候にもかかわらず、三十五名の参加があり有意義な一時を過しました。

初めての親睦会と云うこともあって、雰囲気になれるまであまり話しが出来ませんでした。座長の宝生さん(ニール友の)のリードもあってなごやかな話し合いが行なわれました。

年金問題、慢性腎炎、透析の導入時点などが出されておりました。問題別に少数単位で話し合う方法をとらず全体で話し合ったため意見が限られてしまっただうでした。

また、東腎協に対する要望などもこの機会に出してもらおうと云うことにしました。意見として、①現在の透析療法は、保険もきかなかつたところと比べ飛躍的に前進してきた。患者会の影響は目にみえ



親 睦 会 風 景

ないところで生きている。運動すれば何らかの影響があると云うことをみんなが知るべきではないか。②透析人口は、増える一方であり、医療費の高額、健保組合の赤字などによる透析患者の就職教遠などの問題点をしっかりふまえて運動する必要がある。③現在の医療体制にも問題があるが、具体的な問題をかかげながら運動を続けていく必要がある。会員の連帯感を強め、みんなもっている情報を出し合うことが必要ではないか。

などの意見が出ましたが最後に、小川さん（虎の門病院）より、「病氣と云う字は、病体と書くべきだと思ふ。透析患者は、身障者であつて病人ではないと云うことである。よく体を動かし運動することによつてハマトクリットも上がるし体の状態もよくなる。原則は守りながら自分の食べたいものを食べていくと云うことが大切だと思ふ。また、将来の透析は、機械の小型化への方向や薬を飲んで透析回数をへらす方向に行くのではないか」など、六十才とは思えぬ若さで力強く語っていました。

台風十三号のため雨が強く降り続いて

いましたので、予定よりはやめに終了しました。

親睦会終了後、数名の役員が残り、反省を兼ねた感想を一人ひとり出しあいしました。みんなが一致した意見は次のようなことです。

一、今回こういう親睦会をもつただけでも意義がある（はじめての試みなので）

二、みんなと（一人ひとり）話すことが大切なのではないか。

三、精神的な悩みを話すことはなかなかむずかしいのではないか。

その中でも三の精神的な悩みの問題では論議が集中しました。

「病氣、透析、食事に関する知識は一応知っていると学習会（単位腎友会の）を開いても余り出てこない。悩みを持っていても自分の殻にとじこもり、みんなバラバラになっている。三分の一は独身者でその中でも女性の持っている悩みにどう励ましたらいいのかわからない。

『生きがい』を考えるのが大事ではないか——こう語るのは、西新井病院腎友会の高橋さん。

「慢性腎炎だと人に話していいような悩みはない。内面的なものが悩み——例えば結婚、それに対して意見を出せといわれても出ない」（ニレ友の会・草間さん）

「技術的な問題（病氣、透析、食事）がわかっただけでもスッキリするのではないだろうか」（同・伊藤さん）

今後は、「私はこんな生活をしているが：」、「私の悩みは：」——そんな内容を役員会で企画できるように、もっと研究をする必要があります。



腎友会

だより

その5

病院訪問

月島サマリヤ病院を訪ねて

※ 賀久夫

さる十月一日(水曜日)平沢副会長と共に月島サマリヤ病院を訪ねました。

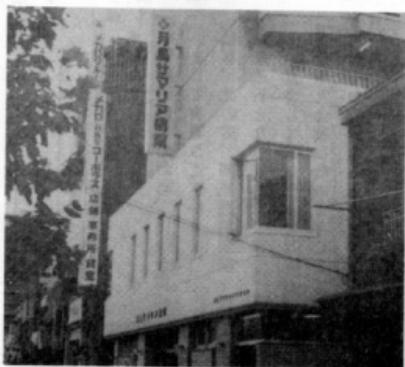
透析室は三階にあり週三回で一回五時間の透析をしております。ほとんどが単夜透析で患者さんは三十八名だそうです。

まだ腎友会が出来ておりませんが、現在、高須さんを中心に腎友会結成のための活動が続けられており、石川さんに責任者になっていただき患者さん達に呼びかけをしているとのこと。また、院長の吉岡先生にお逢して話をうかがいましたが、東腎協に是非加入しますとの嬉しい御協力の言葉をいただき大変心強く思いました。患者さん達に對しても大変理解のある様子うかがえました。

私達の東腎協では、まだ東腎協に加入

していない方々に對して東腎協への加入を呼びかけております。活動をする場合でも一人でも多くの方が加入され、より大きな東腎協となることにより腎臓病に苦しんでいる者同志が、少しでもよりよい人生を送れるよう努力を続けているところ。です。

月島サマリヤ病院の腎友会がより大きな腎友会として活動されるよう期待し、東腎協と共に一体となって頑張っていきたいと思っております。



こぶし会

こぶし会 平沢 三吾

こぶし会は、東腎協・事務局負担の軽減、個人会員相互の交流、親睦をはかる等を目的として、牧清美氏(故人)と私が発起人となり、東腎協・個人会員約百五十名に呼びかけ、昭和48年9月30日、東京都勤労福祉会館(八丁堀)で準備会を開き、同年11月3日に、都内在住の全ての腎疾患患者、その他が入会できる「こぶし会」を結成しました。

こぶし会の「こぶし」とは、漢字で「辛夷」(「あて字!」)と書き、日本・朝鮮・中国の山野に自生する落葉高木で、早春に白い花を開らせます。「花」は、香料にもなり、「つぼみ」や「実」は、薬の原料ともなります。腎臓の大きさは、にぎりこぶし位といわれていますが、こぶしの実は、にぎりこぶしに似ています。

当会の活動は、懇談会(過去11回開催)と日常の生活相談および機関誌(全腎協・東腎協)の発送が主で、レクリエーシ

ヨンは、企画されたことはありますが、会員の殆んどが別々の病院に通院しているために、実現されていません。

会の運営は、平沢会長（東腎協・副会長）、上野事務局長（東腎協・幹事）、大浜会計（女性、東京労済病院で通院透析）の三人がその中心になっており、費用は、年会費・三、六〇〇円（分割払可）によってまかなわれていきます。

会員数は、当初20名の方々が入会しておりましたが、不幸にも、49年度に、4名の方々が逝去され、また一部の方々が退会されて、現在は、13名（4名が透析中）となりました。

患者会をもたない個人会員のみなさんは非「こぶし会」に参加して、会員相互の悩みや日常生活について話し合い、また、患者会活動のあり方等も話し合い、一人でも多くの意見を、「東腎協」に反映させ、その発展に協力しましょう。

連絡先・江東区南砂



お便り・新会員より

朝夕は、めっきり涼しくなってきました。

腎臓病患者のため、いつも御活躍下さいまして有難うございます。

私事、此の度、関東通信病院を退院し、外来透析となりました。

つきましては、個人ではありますが、貴会へ入会致したいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

糸川 照子

国立市東



「旅」

（河童会） 月 田 修 次

一人、旅へと出ました

又、何かを求めて

ハプニングが起りそう

こんな 行方定めぬ道なれど

気の向くまま

一本の矢を 空へ

射つように！！

一人旅は 気楽で楽しい！

一人旅は 淋しくつまらない

知らない 街を一人行く

楽しく歩く

知らない町を一人行く

淋しく歩く

そして……

夏の 思い出 特集



北海道旅行

代々木病院 山崎 雅和

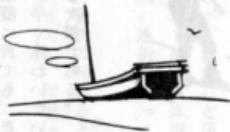
小生、七月末日から九日間、函館に行ってきた。ここに八年程、住んでおりましたので、言わば里帰りです。

あちらで二度透析をしていただきました。直接、五稜郭病院という所に電話してみましたところ、即OK、一回という

約束で行ってみましたところ、おりからの「港祭り」という、市を上げてのお祭りがあったので、予定を延ばし二回やってもらいました。

土曜日に透析を受け、翌日曜日の朝羽田を立ち、次の週の月曜日の午後羽田着。ここから直接病院へ向い、準夜透析ということ、二日に一回のペースでした。おかげで適当に好きな物を飲食することができました。

透析の費用は小生現在、健保家族と更生医療なのですが、福祉事務所に頼み、その方が、都とかけあっていただき旅先きでも更生医療を認めてもらえることになりパンソウコウ代二十五円で治療を受けられました。



富士五湖

ドライブ

国立王子病院 牛岡 實

四十才の手習いというわけでもないが、私は昨年九月より半年間、自動車学校に通い、この三月ようやく免許を取った。

その間、水・土の透析治療を受け、仕事をしながらの毎日だったので、当初三ヶ月もあればと高を括っていたが、思ったより大変で免許を買った時の嬉しさはいまだ忘れることができない。

年の暮れにかかっていたせいか学校は大変な混雑のしようで、雪の日も雨の日も早朝より並んで待った苦勞も、今は懐かしい思い出の一つとして話題にすることができると。

私は従来これといった趣味もなく、毎日を非常に退屈に過していたが、最近車を購入してからは体調も良く、病氣も忘れて毎日を大変楽しく過している。今年の夏は山中湖へのファミリー旅行を試み、富士山の五合目まで、河口湖より富士ス

バルラインに乗り行ってきたが、その爽快な気分には、生きている事の喜びをつくづく味わえることができた。台風の翌日だったせいもあり、空は青く、空気清く、心朗らかだった。しかし、四合目で逢った「霧」には、ほとほと難儀をした。まさに五里霧中といった感じで、手続きの状態で運転は、初心者私には、誠に難しいものであった。

霧の中でふと思ったのだが、丁度四年前は国立王子病院の透折一号患者として治療を受け始めたが、当時の情勢は優秀なスタッフがっていたとはいえず、毎日が不安の連続であった。医学の進歩と器械の発達により、昨今では不安は立ち去り、現在は、富士の五合目にさしかかった所ではないかと思う。また、私は現在全腎協の役員として患者運動を進めている一人であるが、私達の運動もこの四年間、まさに霧の中であった。大勢の患者の結果と努力により一步一步前進し、やがて頂上を極めるよう努力しているが、まだまだ霧が深く困難をさわるであらう。世の中すべて自分の思い通りにはならないが、霧を縫って五合目にたどりつ

いた時の気分を透折治療に於ても、患者運動に於ても、一日も早く味わいたいものだをつくづく感じる次第である。



西新井病院腎友の会 第二回旅行会

田崎吉男

私達友の会は今年の旅行について一人一人アンケートを取り、決ったのがバスで海の見える所。幸い会員に観光会社に入人が居り、お願いして伊豆半島西海岸

土肥温泉に行く事になりました。毎月積立た旅行費に、不足分をプラスして実現しました。病院側の全面的な協力があり一週間も前から透折日の調整をして戴いたりして、友の会十六人、先生二人、看護婦さん四人、栄養士さん一人、テクニシャン三人、それぞれの御家族の皆さんをふくめ大人四十人、小供五人が参加してくれました。

九月二十一日(日)八時出発、東京の喧嘩をのがれ東名、御殿場、箱根、芦ノ湖にて大休止。遊覧船で湖面を一巡したり、写真を撮ったり、気の早い人はお土産までも。休憩と云っても我々と関係ないカンジュースなどばかり、トイレにも用がない、水道の水でうがいがいがい(なんてあわれな事よ)。

乙女峠、十国峠、これよりハンドルを左に修善寺、船原峠を過ぎると駿河湾が見える。間もなく土肥温泉ホテルに到着。早速ユカタに着がえるもの、マージャンの用意をする者、海岸に出る者。一風呂浴びて、大広間で先づはビールで乾杯。駿河湾で取れる豊富な海の幸、特別料理「灯台盛り」なる料理食べては、飲みか

つ歌い、みんな大いに満足しました。食後は散歩に出る者、レコードを鑑賞する者、トランプで遊ぶ者、いろいろして潮騒をきながら床の中に。

このホテルは海に面して建てられ、渚迄五十米位しかなく三方山にかこまれた小さな入江になって居り、漁師が舟をあやつって地引網を引いて居るのが目の前に見える。又、此の地はあの旅の詩人若山秋水ゆかりの地とききます。

朝九時三十分出発。船原峠を通り三津浜で中食、イルカジャンプを見学。東名を通り無事病院に到着四時。初めてのパス旅行でしたが、何よりよかったのは運転手さん、ガイドさんにめぐまれた事で、親切丁寧な案内でした。車の窓より刻々変わる風景を眺めキレイな空。富士山も顔を見せ、我々を歓迎してくれ、東京では見られない自然のミドリに用意された血圧計、酸素ボンベのお世話にもならず全員無事四時頃病院前に着きました。病院の皆様、御家族の皆様どうも有難とう。アリガトウ。

近況報告

こぶし会 服部 正 夫

今年の夏は、大変暑かったですね。九月にはいってからも、気象台観測以来の暑さの連続ということでしたが、皆さんも、大変な夏を過ぎたことと思います。私は、発病以来、もう九年になり、透折を始めてから、二年四ヶ月になります。その間、腹膜灌流（二年二ヶ月）、透折で、三年余の入院生活を送り、昨年五月末に退院（東急病院）して、通院透折をしております。

幸にして、昨年末、都営住宅の入居抽選にあたり、今年の六月に、住みなれた新宿区若松町のアパートをひきはらい、隣町の戸山ハイツの都営アパート二階に入居しました。ところが、引越しと後片づけで、多少無理をしたために、体調をくずし、今は、週四回の透折をやっています。早く、もとの週三回透折に戻れるよう頑張りますので、皆さんも、頑張ってください。

「愛よ何故に」

（河童会） 月田 修次

涙、なぜに流れる

愛ゆえに

君、なぜに悲しみしおれる

愛ゆえに

ボク、なぜに悲しむ

愛ゆえに

心、なぜに傷つく

愛ゆえに

二人、なぜに別離れる

愛ゆえに

愛よ、なぜに生まれる

愛ゆえに

あったと思っています。

今度の旅行で学んだことは「何か」目的を持つ事、そのために努力する事、成し遂げる事が、健康の上でも大切な事を知りました。

最後に、今度の旅行に際して、いろいろ御尽力をいただいた「三軒茶屋病院」の院長先生をはじめ、元気に送り出してくれました職員の方々に、この紙面を借りてお礼申し上げます。



「或る日の

私の奮戦記」

(河童会) 渡辺 由起

子供の鳴き声で、夢を破られた。

時計を見たら五時十分前。噫々「眠むいナ」と、つぶやきながら起き出す。

片目をつぶりながら親子の犬の散歩に出掛けた。誰一人歩いて居ない、すがすがしい朝の空気を胸一杯吸い、十五分位掛かる道をひとまわりする。

家に帰り、窓や入口の戸を開く。水の出の良い内に洗濯をする事にした。

一間半の竿が三本にハンガー二ヶ分の洗濯物が有った。排水はバケツで、近所中の道路へと水まきをする。

とても良い気持である。

ひと仕事を終り、朝食の仕度にかかる。何せ、独り住いの身、大した時間は掛らない。テレビを見ながらの食事。

早々に、近所の女の子が、くす玉作りを教えてと折紙を持参す。後かた付けもそこそこに折紙折りの先生になる。少し

後にまた一人、近所の女の子が折紙を持って来て、少し早い夏休みの宿題にと習いに来た。おしゃべりをしながら正午迄折る。

子供達が帰った後で、今度は南と西陽が一杯に入っている部屋にて、ミシン掛けを始めた。敷布団の皮を縫ったり、今朝洗った、敷布団の表皮が薄く成ってた箇所

に縫当てをする。
背中に直射日光が当るので汗が流れるように流れて来る。結局夕方迄掛かってしまった。後片付けをし、夕食の買いだし。風呂(銭湯)に行き汗を流す。

良い心持ちにて夕食の調理。食事は、ゆっくり食べる。

家は、前と横が道路になって居るので老いていても女の私、物騒な現代故、九時半頃には、窓や入口の戸を締める。

部屋は暑い。だがもう一つ仕事が残っている。それは、敷布団の綿入れです。締めきった部屋でやるので、暑い暑くないのって、汗が流れてくる。もう我慢出来ず着ている服をぬぎ捨ててズロースだけの姿で頑張った。

終ってみたら、午前一時半。



虎の門腎友会のみなさん

今日はマナー我ながら、おどろく程にハッスルしたものと思ひ、ついつい、ペドに横になり、パタンキュー。

明日も、又、五時頃大連に起こされることだろう。おやすみなさい！

高尾山迷走に付添うの記

石坂葉子

青葉若葉のかおる五月の日曜日、わが虎の門会としては、始めての企画、花村新会長の今年度の抱負として、親睦と、身体づくりをかねて高尾山を歩こうと云うことになった。ごそんじの様に、高尾山は都民身近な大自然郷であり古くから関東霊場の一つとして知られ、現在でも白いたすきをかけた老若男女の参詣人の姿がハイカーに混じって後をたたない。

他の参加者は皆梶ヶ谷の分院に集りマイクロバスで山に向うとの事で、私達は居住地が八王子のため高尾の登山口で待つことにする。去年の都民の日に、少し歩かねばという事で登ったが登り坂になると10米もいかないうちに、ボディばかりが大型でも軽エンジンのわが亭主殿は息が苦しい、どきどきする、疲れた、といって道の端に座り込む不甲斐なさで早々にひきあげて来た実績があるので、まあまあ頂上迄いって、おむすびをひとつかふたつ食べて無理ならば又リフトかケールカーでくたたくれば本人もその気になって少しは今後の自信にもつながろうかとリュックサックにわづかの食糧とお茶を放りこみまずは出発と相なった。

9時半頃到着予定とはいいい乍ら10時になっても皆現われずベンチに腰かけて待つ事一時間余り〇、四の近眼がいっしょうけん命限ひらいて見慣れた顔を群衆の中に探したけれどいっこうに現れず遂に葉をにやしてもうどっちでもいいと歩きかけたところケールカーの開孔口で療友連に出逢う、ああよかった、皆いさまでいい出で立ちでやる気充分とみうける。

ケールカーで頂上へ、頂上といってもほぼ高尾山の2/3位で、おりてからの登りがかなり平面歩行にばかり専念していた身にはきつい、幾度も歩いた登山道だが青葉にすっぽり埋まって緑のトンネルが清々しく樹々の間からふきあがる風が快い、後から来てどんどん追いかけていく健康人には目もくれず、そろそろそろと足ならしをしながら歩き始める「ヘマトはいくつですか」「血圧は」等という声も後の方できこえる。まあおんびりいきましょうよ。今日は女性軍もいるので、わが亭主殿も少々の事でへばっては男がすたると思つてか、足どりも軽くと迄はいかないけれど仲々テンポが良く、ヘマト13で血圧も高いというSさん

お腹の具合が悪くて入院中というOさんにはお母さんの付添いがある、急ぐ旅でもないので途中休み休み皆で話しながらのぼる、重量級よりやはり軽量級がさすがに早いYさんとN君のアベックが少しづつ皆をリードして木影にさっさとさえていく、遅れてはならじと歩いてはいるのだが、いつか距離を延ばされて、ちぎれちぎれてブロックがいくつか出来る。それでも頂上には12時少し前に到着、10分20分さきさまに全員到着する風がやゝ強くところにより俄雨の来そうな雲ゆき、ごった返す見晴台で何はともあれ腹ごしらえ、何といっても今日一番のたのしみ、さすが、女性軍はバラエティにとんだ昼食を次々と出してばかりついている。家族連れの様友たちも、それぞれの場所を見付けて一家揃っての健康的な昼食、皆晴れ晴れとしたよい顔だ、標高六〇三米の頂上で昼食後、記念撮影、撮影後相模湖迄歩く人、途中で大垂見峠へおるる人、このコースをひき返す人、それぞれ身体のコンディションにより個人選別となり、誘ったり誘われたり、自信と不安と願望とがいりまじって一悶着、それでも

大半が相模湖コースを選び歩きはじめる。運転手のIさんはコースをひき返しバスを相模湖にまわしておくために、時を約して頂上でわかる。今度はくんだりばかりと想像してあやしげな気遣いで誘った方がいいがくだれば登り登ればくだりの連続で城山迄は悪戦苦闘、だから坂ならいいが階段迄おまけがついている。ここ迄来てしまつてはタクシードもたんかもなく唯自分の足を頼りに歩くのみ、恨み言も段々言葉少なになる。療友達の身体の調子をくずしてはとそればかりが気がかり、いくつもの山をまいてのぼりの遅々とした歩み、城山に来てや々と眼下に相模湖が見え歓声をあげる。湖にさざ波が立ち影となって緑の中に静まり返っている景色なんて見ている余裕がなかったというSさん、ベンチに腰かけて暫くは山の空気をゆっくり胸に吸い込む。時間に追われてさあ相模湖へ、今度はくんだりばかりなので、ころばないように気を付けさえすれば気分的に楽。ひと足ひと足ふみしめてくだる、緑々の中、途中で茶店があった。小休止、熱いお茶のおいしかったこと、代金はお気持で結構という伯母さ

んの言葉に、昔々のよき時代が思われて何となく心軽くなる。暫しの休みの後席あたためる暇なく行動開始、時々下からエンチンの響きがあがって来て少しづつ下界の近くなっている事をしらせる。樹の間がくれば甲州街道が帯の様に見える。下山口の処に又々茶店があり小休止。健康な人達が沢山かき水を食べている。それを横目でみてお茶で口をすすぐ、模範的な透折患者ばかり、甲州街道に出た時はさすが気疲れと身体の疲れで健康人である私もがっくりしてしまつた。でも始めてのハイキングで長時間身体を使つての踏破で今更乍らやってみれば出来るかと歩く事に自信をもつ事が出来大変なプラスになった事だろうと思う。おおかたの意見は、とっても大変だったけれど後になつたらとても気持がよかつたという私の気持と同じだったのではないかと思う。

涼しくなつたら皆さんもいかがですか。

沖繩の思い出

厚生年金腎友会

糸賀久夫

七月十二日、十三日の二日間職場の友人と二人で沖繩に行きました。透折の關係で長くいられなかったのが少し残念でした。

東京を出発する時は梅雨がまだ明けないでくづついた天気であったが、沖繩の上空に近づくにつれて真夏の太陽がキラキラ輝やいて大変良い天気でしたので、自分の気持ちまで明るくなったようなすがすがしい気分になりました。那覇空港からは、タクシーで南部を中心に観光地をまわりました。

コースは、豊見城（海軍壕）―糸満―ひめゆりの塔―魂魂の塔―健児の塔―摩文仁の丘―具志頭―玉泉洞などの順に見てまわりました。南部戦跡めぐりは、第二次大戦の激しさを現在も生々しく残しておりました。戦争の体験のない、戦後生れの僕にも戦争の悲惨さが思われまし

たが沖繩の海も空も素晴らしい澄んでいて、当時のことが嘘のようでした。

しかし、私達は、沖繩県民のこの体験を決して忘れてはいけなと自分言いい開かせてホテルに帰って来ました。

翌日は、沖繩海中公園に行きましたが、その途中の海岸の美しい車をとめて何度となく海をながめました。そして自分が透折患者だと云うことを忘れて生きていることの素晴らしいさをつくづく感じる事が出来ました。

海中公園では、海中展望塔の中に入って美しい珊瑚礁の海を眺め色鮮やかな熱帯魚を見ることが出来ました。その後砂浜にでて海水浴を楽しみましたが、真夏の太陽が輝やいてすぐに体がヒリヒリ焼けてきました。僕は、水泳が大好きなので沖繩のきれいな海で泳ぐことが出来大変満足でした。

旅行の一番の目的がこのきれいな海で泳ぐことでした。

海の中できれいな石を拾ったり、岩場が上がったりして遊びましたが、この楽しい時間は、あっと云う間に過ぎてしまいました。それでも予定より一時間も

長く海岸にいてしまい、いつまでもこのきれいな海から離れたくない気持ちでした。もし僕が透折患者でなくて、健康だったら毎日でも沖繩に留まっていたと思います。

しかし、僕が外シャントをしていたころとくらべれば、泳げるようになったことは夢のような事なのでそれだけでも大変な進歩でした。

海水浴が終わってからは、僕も友人も顔が真赤に焼けてしまっていました。そしてまっすぐ那覇空港に行き東京に帰って来ました。

病院の先生に琉球大学の外科の先生を紹介していただいて出かけましたがそのお世話にもならず、何のトラブルもなかった僕にとっては、大変な自信がつかこれからの生活に大きなプラスになると思います。



近況報告

こぶし会

滝本昭子

会員の皆さん、今年の夏は、いかがお過ごしになりましたか……。

私は、去る八月八日に、やっと、二年半（一年の腹腰痛、一年半の人工透析の入院生活から解放されました。

入院中は、いろいろ悩み、苦しみ、また、家族には大変苦労をかけたのですが、退院して、夫や娘が喜んで呉れたので、ほんとに良かったと思います。

今は、週二回（火・金）の通院透析を受けていますが、だんだん体力がついてきて、外出できるようになりました。

私達、透析患者の生活は、厳しく、苦しいけれど、生命ある限り、自分に負けないように、必至に頑張りたいと思っております。

私の趣味は、俳句を作ることですが、最近作ったものを、三句記しました。



腎病みて 素顔に大き サングラス

寝返れば シヤントの音に昼寝さむ

腎病みて シヤントの腕に夏手袋

俳句を作られている方また趣味にしてみようと思われている方、是非ご連絡下さい。

（連絡先・大田区西六郷

「人工透析よありがとう」

人工透析をうければ

生命は助かる！

三軒茶屋病院 田口ワタル

医師から病気の重いことを知らされて看病疲れの妻が、いっそう元気なくポツンとわたしに緊急事態を告げたのは春たけなわの昨年五月のことだった。

仕事の過労から慢性の腎臓病が悪化し隣町の病院に入院して五日目。思わぬピンチに、わたしはさすがにぼう然とし心の衝撃を押えきれなかった。兄弟たちの奨めもあって入院を決意、まもなく救急車に揺られて早朝の町を世田谷へ。

わたしの目には通り過ぎる町々の景色も心なしかさびしくゆき交う運転手たちは嘲笑にも似た表情を投げかける。わたしはそのつど妻たちに心の中でわがまましたことをすまないといわびた。

病院に到着するとすぐに外シャントの手術をすませ、三日間連続して人工透析

もらっていますか

障害年金受給資格

その1

副会長 平沢 三吾

最近入会された会員と思いがいで、
まだもらっていない会員のために、障害年金について説明いたします。

障害年金（厚生年金、国民年金）は、
加入しているときにおきた「病氣」や「けが」で、不具廃疾になり、廃疾認定日まで、一定の保険料納入期間がある人がもらえるものです。

廃疾認定日とは、①初診日から三年を
すきて、なお症状が固定しない（治らない）ときは、その日、②三年すぎないで治ったときは、治った日、③治療の途中であっても、症状が固定して、その効果が期待できない状態に至った日、をいいます。透析患者は、透析療法を開始してから三カ月をすぎた日となります。

〔厚生年金〕

一、障害年金をもらえる条件

①初診日に年金の加入者であること。
②廃疾認定日に廃疾等級認定基準にあてはまること。

④一級は、労働することを不能ならしめかつ、長期にわたる高度の安静と常時の監視または介護とを必要とする程度の障害を有するもの。

⑤二級は、労働が高度の制限をうけるかまたは労働に高度の制限を加えることを必要とする障害を有するもの。

⑥三級は、労働が制限をうけるか、または労働に制限を加えることを必要とする程度の障害を有するもの。

③廃疾認定日の前月までに、被保険者期間（加入者期間）が6カ月以上あること。

もし、加入者期間を初診日までに6カ月以上あることが必要と思われる人は、これは誤りです。そしてこの6カ月間は、廃疾認定日の前月までに引続いっていないで、よく、たとえば、入社後2カ月目目に発病して、その直後に退社したとしても、その会社に入る以前の他社で、5カ月以上の厚生年金の加入期間があれば、通算されますので受給資格があります。

二、年金額と手続き

①一級は、基本年金額の二二五%

②二級は、基本年金額

③三級は、基本年金額の七五%

一・二級には、加給年金額（配偶者は二万八千八百円、子のうち二人に各九千六百円、その他の子一人につき四千八百円）が加算されます。三級の場合、年金額が二十四万円未満の場合は、二十四万円が支給されることになっています。

ただし、昭和48年11月の改正で年金額の実質価値を維持するための「スライド制」がとり入れられ、昭和49年8月分より、年金額の十六・一%相当額、昭和50年8月分より、年金額の二十一・八%相当額がそれぞれ増額されることになりました。

年金の請求手続きは、「障害年金裁定請求書」に、「診断書」「被保険者証」加給年金対象者があるときは「戸籍謄本または住民票」（その対象者が不具廃疾者であるときは、医師の診断書）を添付して、廃疾認定日の日現在勤めている事業所、または最後に勤めた事業所をうけ

もつ社会保険事務所に提出します。

三、支給期間、年金額の改定

障害年金は、廃疾認定をうけた月の翌月から、廃疾の程度が三級よりも軽くなつた月（翌月から三年間支給停止）または死亡した月の分までもらえます。

障害の程度が重くなつたことによる年金額の改定請求は、保険者の診査をうけた日から一年後でなければ、できないことになっています。——年金額改正請求書——を住所地の社会保険事務所に提出します。

厚生年金法第92条によると「保険給付を受ける権利は、五年を経過したときは、時効によって、消滅する」となっています。

廃疾認定日より5年すぎても、時効になっている場合でも、「申立書」（時効になる前に本人が、たとえば役所に年金の裁定請求書の用紙をもらいに行ったことがあるなど、年金請求の意思表示をしたことを書いたもの）を添付して手続きをします。

〔国民年金〕

一、障害年金をもらえる条件

① 初診日に年金の加入者であること。

② 廃疾認定日に廃疾等級認定基準にあてはまること。

厚生年金は、労働能力にどれだけ支障があるかに基準をおいていますが、国民年金は「日常生活に、どれだけ支障があるか」に基準をおいています。

① 一級は、日常生活能力が、他人の介助をうけなければ、ほとんど自分の用を弁ずることができない程度のもので、

② 二級は、日常生活が、著しい制限をうけるか、または日常生活に著しい制限を加えることが必要とする程度のもので、

③ 廃疾認定日の前日までに、一定の保険料納入期間があること。

次のうち、どれかに、あてはまる必要があります。

① 廃疾認定日に一番近い基準月（一月、四月、七月、十月）の前月までに、保険料を一年以上引続いて納入していること（廃疾認定日の前日までに、滞納している保険料を納入すればよいが、

廃疾認定日をすぎても納入しても受給資格はありません）。

② 廃疾認定日に一番近い基準月の前月までに、最近の三年以上が保険料納入済み期間か保険料免除期間であること。

③ 廃疾認定日の前月までに、保険料納入済み期間が五年以上あること。ただし、その期間のほかに滞納期間のある人の場合には、納入済み期間が滞納期間の二倍以上あること。

④ 廃疾認定日の前月までに、老令年金をもらう資格があること。

国民年金には、強制加入と任意加入があり、強制加入の人は、加入手続きをうけていなくてもまた、保険料を納入していなくても、加入者とみなされます。

二、年金額と手続き

年金額は、老令年金と同じ計算方法により支給されますが、その金額が二級で二十四万円未満のときは、二十四万円支給されます。

一級は、二級の年金額に二五割を加えた金額となっています。ただし、「スライド制」の実施により、昭和49年9月分

より年金額の十六・一割、昭和50年9月分より年金額の二十一・八割と、それぞれの相当額が増額されることになりました。

年金の請求手続きは、「障害年金裁定請求書」に、「診断書」、「国民年金手帳」などをそえて、市区町村役場（国民年金課）に提出します。

「事後重症」

国民年金以外の年金は、障害認定日のときの症状が、その年金制度で定めてある障害等級認定基準にあてはまらないときは、あとから症状が悪化しても障害年金はもらえません。

ところが、国民年金だけは障害認定日に、障害等級認定基準にあてはまらなくても、それ以降に症状が悪化して、認定基準にあてはまるようになったときは、手続きをすれば、手続きをした翌月分から障害年金がもらえます。これを「事後重症」といいます。

三、支給期間等級改訂請求

老令年金と同じように、裁定請求をし

た日に関係なく、障害認定日の翌月からもらえます。

しかし、障害認定日から五年がすぎますと、「時効」となり、原則として、もらえる権利を失います（運用の中で救済される方法があります）。

また、年金をもらっている人が死亡したときには権利を失い、死亡した翌月からもらえなくなりますが、障害の程度が二級に該当しなくなった場合には、年金の支給は翌月から停止され、三年以内にふたたび障害年金をもらえる障害の程度になったときには、年金の支給を再開されることになっています。三年間たつて年金をもらえる状態にならないときは失権となります。

二級の障害年金をもらっているうちに障害の程度が一級に該当するようになったときは、「等級の改訂請求」をすることができますが、これは、はじめて年金の裁定をうけたときから一年をすぎないときできません。

「不服申し立て」

障害年金がもらえると申すて手続きを

したところ、該当しないので却下されたあるいは一級の年金をもらっている人が二級に格下げされたなどの、年金にたいする役所の決定に不服があるときは、決定通知書が本人の手許に届いた日の翌日から60日以内に「不服申し立て」（審査請求）を社会保険審査会に行なうことになっています。

障害福祉年金

その2 受給資格と手続

国民年金の「障害福祉年金」は、二〇歳以上の一級、または二級の障害認定基準にあてはまる人が、障害年金をもらうことができないときに支給されます。しかし、障害認定日に七〇歳をすぎない人（老令福祉年金）は該当しません。

この障害福祉年金は、年令、初診日、保険料の納入状況のちがいがなどによって「経過的障害福祉年金」と「補完的障害福祉年金」に分かれています。

〔経過的障害福祉年金〕

①昭和34年11月1日（福祉年金の支給がはじまった日）前から、一・二級の障害状態の人。

②昭和36年4月1日（拠出制の国民年金がはじまった日）前に初診日がある一・二級の障害状態の人。

③明治44年4月1日までに生まれた人が、昭和36年4月1日以後の傷病で、一・二級の障害状態になったとき。

〔補完的障害福祉年金〕

①20歳未満のときに初診日がある人で、20歳になってから障害認定日がある人はその障害認定日に、また障害認定日が20歳になる前である人は、20歳になった日に、それぞれ一・二級の障害状態であるとき。

②国民年金に加入したあとに初診日がある一・二級の障害状態の人が、保険料納付期間の関係で障害年金をもらえない条件を満たしていない場合、障害認定日の前日までに次の条件にあてはまる場合。

①障害認定日の前日までの加入期間のうち、保険料免除期間を除いた期間が5年以上あり、そのうち三分の二以上の期間が保険料納付期間であること。

②障害認定日の前日までに、保険料を滞納している期間がないこと。

③初診日が国民年金の加入者でなく、なるときある大正5年4月1日以前に生まれた人で、次の条件を満たしている人。

④明治45年4月1日以前に生まれた人は4年。

⑤大正2年4月1日以前に生まれた人は5年。

⑥大正3年4月1日以前に生まれた人は6年。

⑦大正5年4月1日以前に生まれた人は7年。

4年、5年、6年、7年は、保険料納付期間および免除期間であります。

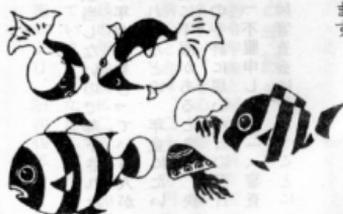
なお障害福祉年金の場合も「事後重症」「3年間の支給停止」、「再認定」などは障害年金と同じです。

〔年金額、手続き〕

年金額は、一級で、月額一万一千三百円、月額一万八千円、二級では、月額七千五百円、月額一万二千元に、それぞれ、昭和50年10月より増額になりました。支給月は、一月、五月、九月になります。支給月が、一月、五月、九月になってますが、もらえるのは、支給月の前月分までの4カ月分です。

また、障害福祉年金には、所得制限があり、夫婦で年収百二十万円、扶養義務者所得（6人世帯）では年収八百七十六万円となっています。

もらう手続きは、「障害福祉年金裁定請求書」に、戸籍抄本又は住民票、「福祉年金所得状況届」、「診断書、国民年金手帳（もっている人）」を添えて、区市町村役場に提出します。



求職カードの作成について

東腎協では、かねてより懸案でありました、求職カードを作成することになりました。

これは、東腎協で就職を斡旋するものではなく、求職カードを作成し、東京都労働局及び職業安定所との連携により、皆さんのお役に立とうということでもあります。

つまり、最終的には職業安定所より就職を斡旋してもらおうとするものです。

希望者は下記用紙に必要な事項を記入、又は○を附し下記まで御送付下さい。

■送付先 東京都新宿区下落合3-15-29 ㊟161

田沼ビル(第2)

東京都腎臓病患者連絡協議会

-----切-----る-----

1	氏名				男・女	年齢	才
2	住所						
3	電話番号				郵便番号		
4	身障手帳	無	有	級			
5	慢性	腎炎・ネフローゼ・その他()					
	透析	曜日		時間	~		
6	現在の就業状況						
7	希望職種						

